

インパクト

プログラム開始以来、75名のコーディネーター達が、のべ100万人以上(2019年9月時点)のアメリカの方々に「日本」を紹介してきました。JOIプログラムをきっかけに「日本」に触れた様々な年齢層の人たちが、情報を共有した家族や友人まで含めると、その数倍の人々に影響を与えたこととなります。これからも、日米の地域・草の根交流を担う架け橋として、JOIプログラムは活動を続けてまいります。



JOIプログラムは、国際交流基金日米センターと米国の非営利団体ローラシアン協会が2002年度より共同で実施しています。

国際交流基金

JAPAN FOUNDATION [The Japan Foundation]

世界の全地域において、総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の組織として、1972年に特殊法人として設立され、2003年10月に外務省所管の独立行政法人となりました。国際相互理解を深め、平和な未来を築いていくために、文化芸術交流、海外における日本語教育、日本研究・知的交流を3本の柱として活動しています。

<http://www.jpff.go.jp/>

日米センター

The Japan Foundation Center for Global Partnership [Center for Global Partnership]

日米が共同で世界に貢献し、緊密な日米関係を築くことを目的として、1991年に国際交流基金に設立されました。両国のパートナーシップ推進のための知的交流と両国の相互理解を深めるための地域・草の根交流等の分野で交流活動を行っています。

<http://www.jpff.go.jp/cgp/>

ローラシアン協会

[Laurasian Institution]

「異なる文化を背景とする人々が協力し、意義ある国際交流環境を創造していく」ことを基本理念に、1990年に米国イリノイ州に非営利法人として設立されました。日米両国に事務所を設置し、国際教育・異文化交流教育に主眼を置いたプログラムの企画・運営に携わっています。主にアジア・アメリカ・ヨーロッパ大陸間で文化理解を深めるための教育プログラムや情報の提供に関する事業を展開しています。 <http://www.laurasian.org/>

プログラムの詳細はWEBサイトをご覧ください。

○ 概要、説明会、第1期からの活動報告等
<http://www.jpff.go.jp/cgp/fellow/joi/>

○ 募集要項(待遇、応募条件)、応募書類等
https://www.jpff.go.jp/cgp/fellow/joi/joi_program.html

お問い合わせ先

ローラシアン協会 東京事務局
〒153-0064 東京都目黒区下目黒5-5-17 Tel : 03-3712-6176

JOI

Japan Outreach Initiative



日米草の根交流 コーディネーター 派遣プログラム

日本への関心・理解が深まるよう、
地域草の根交流に取り組むコーディネーターを、
米国に2年間派遣します。

アメリカで日本をつたえる

探  JOI
japan outreach initiative

JOIプログラムとは

日米草の根交流コーディネーター派遣プログラム(英名:Japan Outreach Initiative)は、米国における対日関心の喚起や日本理解の促進、および草の根交流の担い手育成を目的として、米国に2年間コーディネーターを派遣する事業です。

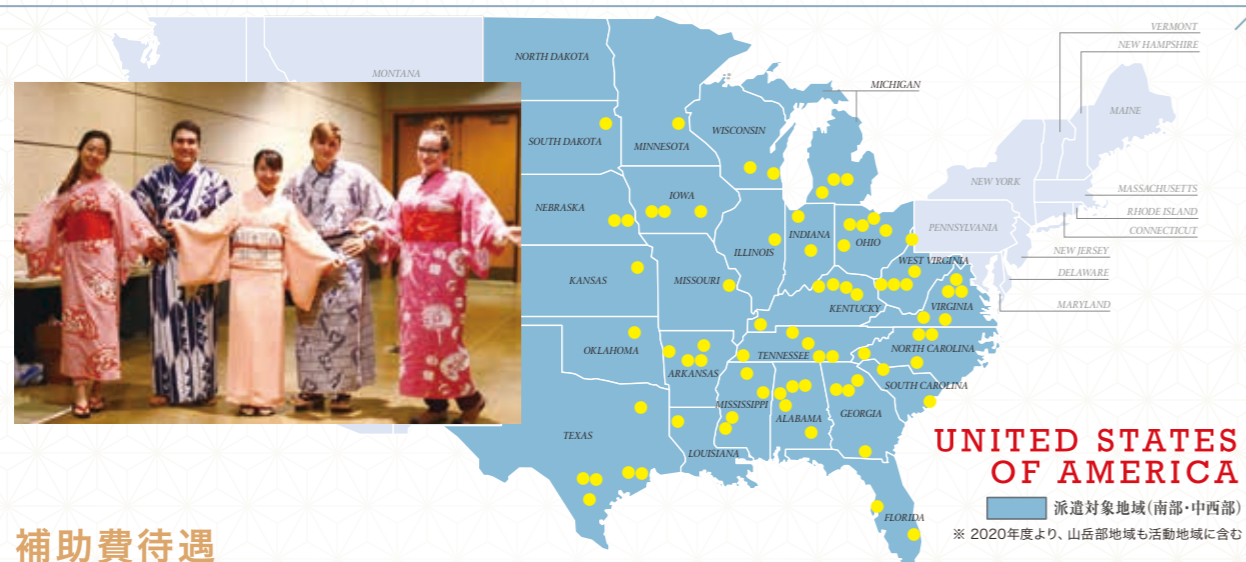
コーディネーターは、日本との交流の機会が比較的少ない米国の中西部・南部地域・山岳部地域の日米協会や大学等に派遣され、学校やコミュニティを訪問して日本の文化・社会・生活・日本語に関する知識や情報を提供したり、「日本祭り」等のイベントを開催する等、様々な活動を展開します。

現地での主な活動内容(例)

- 小・中・高校や大学、図書館での日本の社会や文化に関するプレゼンテーションや講義の実施
- 以下のような催しのコーディネート・実施
 - ・日本の慣習や行事にちなんだイベント
 - ・日本文化(書道や茶道など)に関するデモンストレーション、日本料理教室など
 - ・日本の伝統や現代の社会問題に関する対話プログラム
- 現地と日本の交流関係づくりに関わること(姉妹都市交流など)
- その他派遣先機関の事務補助



JOIの派遣地域(第1期~18期)



補助費待遇

- ・ 往復航空券
- ・ 生活補助費 US \$1,280/月
(住居はホームステイ先等を派遣先が手配)
- ・ 赴任時の移転料等
- ・ 長期海外旅行保険加入補助
- ・ 車両購入、自動車保険加入補助
- ・ JOI研修参加費、他

注)2019年度実績。自己負担額はご自身の生活、派遣地の状況などによって異なります。



応募から派遣まで

派遣前

10月~12月	応募要項発表、説明会など
1月初旬	応募締切
1月末	一次選考(書類)結果発表
2月	二次選考(筆記、面接など)
3月	内定者決定
5月	渡米前オリエンテーション

1年目

7月末~8月	渡米、夏期オリエンテーション
秋	秋期研修

2年目

派遣中	四半期毎に活動レポート提出
7月末~8月	任期終了、帰国

終了後

秋	帰国報告会
---	-------

こんな方を求めています

- ・ 自立性・社会性に富み、柔軟で想像力がある方
- ・ コミュニケーション能力、語学力の高い方
- ・ 日本語や日本文化の諸分野に関する知識・関心のある方
- ・ 日本国籍、四年制大学卒以上の方
- ・ 自動車運転免許をお持ちの方
(活動には運転が必須)
- ・ 心身ともに健康で2年間の活動に従事できる方



先輩コーディネーターに聞く

派遣先との繋がり

インディアナ州/
インディアナポリス
インディアナ日米協会
第13期 常盤千明



JOIで築いた絆は一生!

私は、第13期JOIコーディネーターとして、インディアナ州にあるインディアナ日米協会に派遣されました。インディアナ州の広大なとうもろこし畑の中、車を走らせ、色々な町や学校を訪ね、日本文化を紹介し、挑戦し続けた2年間。たくさんの人々との素敵な出会いがあり、その出会いが更なるつながりを生み、それが「仲間」というパワーになって、私にたくさんの成長する機会を与えてくれました。

帰国後は、島根県雲南市でコーディネーターとして勤務し、姉妹都市であるインディアナ州リッチモンドとの青少年派遣事業に従事しています。インディアナ州と雲南市の架け橋になれるよう活動していると共に、JOIの2年間で得た「チャレンジする楽しさ」を日本の子どもたちに伝えています。帰国した今でもインディアナとの絆を感じることができるのは、JOIに参加したからこそだと思っています。

帰国後のキャリア

オハイオ州セント/
セント州立大学
第15期 大杉治英



国際理解教育を体現出来る場として

現在は国際協力機構(JICA)のウガンダ事務所にて企画調整員として、ボランティア事業/教育分野の支援活動を行っております。国や状況は違いますが、草の根大使として、現地の人と同じ視点に立ち、相手を尊重し、相互理解を促進していくという一面においてはJOIでの経験と大きく重なる部分があると感じております。またセント州立大学で大学運営の現場に立てた事は、今後の仕事での大学間連携事業等にも活かされる知識だったと思います。まだまだ未熟者で、道半ばな所もありますが、JOIでの経験を活かせる場所は無数に広がっています。貴重な2年なので、何事も前向きに捉え、どんどんチャレンジしてみてください。

